

助成金サポートサービス のご案内

知って、活かそう助成金。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

適正に、継続的に、安心して。

概要・サポート実績

当センターは、「失敗のない申請にこだわった体制作り」で、
全国47都道府県の事業者様を対象に助成金の申請・受給のサポートを行っています。

理事長 : 藤田 剛
専務理事 : 木原 定男
理事 : 上宮 隆弘
理事 : 白石 健吾

本部 : 京都市下京区柿本町579
五条堀川ビル9F

運営企業 : (株)ユニプラス

事業内容 : 助成金申請サポート事業
: 経営支援事業(Sppo会員)
: DX・IT推進事業
: 人材育成事業

(2025年9月末現在)

- サポート地域 : 日本国内全域
- 相談数 : 39,984件団体・企業(助成金対象診断)
- 年間講演回数 : 500回
- 申請サポート数 : 15,667団体・企業
- 相談実績のある企業・団体の助成金額規模: 10万円～1億5,140万円
- サポート支給総額 : 約169億7,170万円
- 協賛数 : 800以上の団体・企業様



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE



全ての中小企業様と地域経済の発展のために—
適正かつ継続的な
「助成金」申請から受給までを
トータルサポートいたします。



助成金制度推進センターは、一社でも多くの中小事業主様が適正な「助成金」を申請・受給し、安心して継続的に当制度を活用していただけるようサポート事業を行っています。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

助成金制度とは？

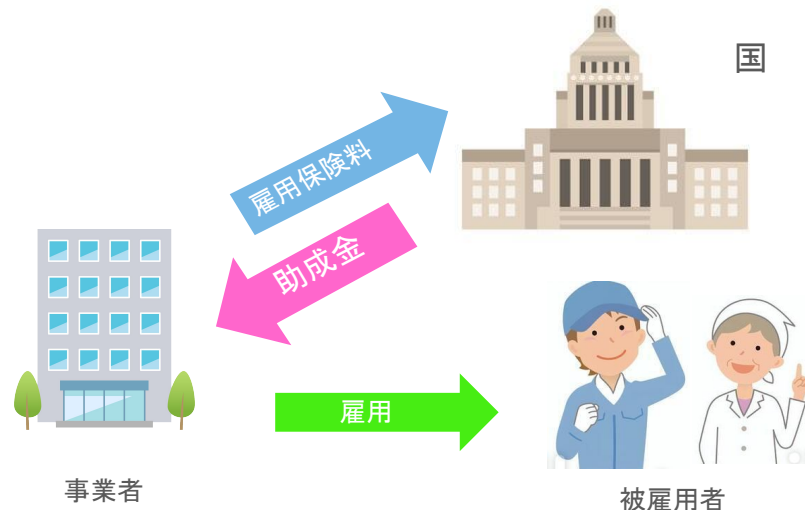
厚生労働省(※1)の管轄で、国が解決したい施策に対し、要件を満たした事業主に「助成金」が支給される制度です。

殆どは雇用保険料を財源としています。

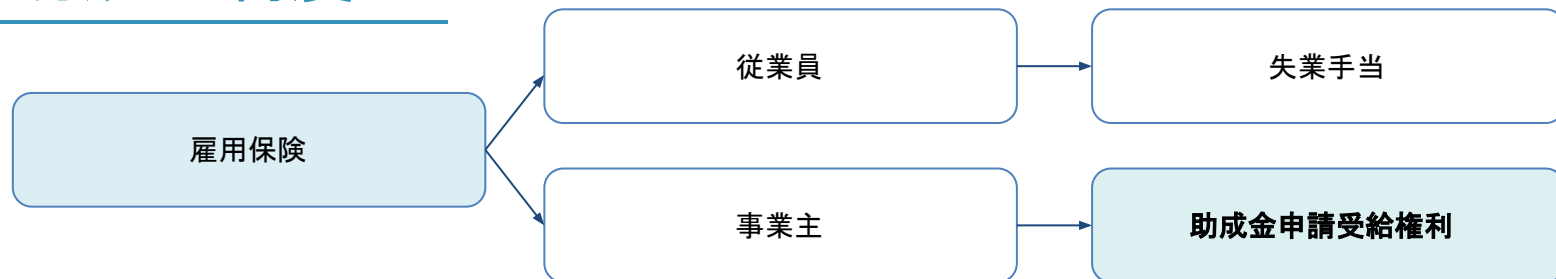
※1:他に国土交通省管轄の助成金もあります。

■助成金が申請できる事業主の主な条件■

- ①従業員が1名以上いる。
- ②同居家族のみの経営ではない。
- ③風俗営業・反社会的と見なされる業種以外。



助成金制度



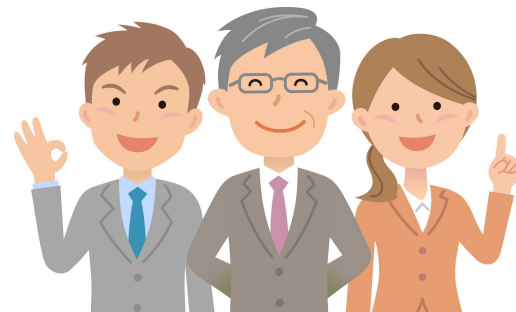
助成金の一例

- キャリアアップ助成金(正社員化コース)...1名につき40万～80万円
- 両立支援等助成金(育児休業等支援コース)... 1名につき 60万円
- 65歳超雇用推進助成金(高年齢者無期雇用転換コース)...1名につき 30万円

※制度変更により助成金額が変わる場合がございます。

⇒「助成金」は、要件を満たして申請すれば、100%支給されます。

中でも「**雇用助成金**」は、業種に関わらず要件に当てはまるケースが多く、活用しやすい助成金です。



助成金と補助金の違い



	助成金	補助金
管轄	厚生労働省	経済産業省
財源	雇用保険料	税金
申請対象	従業員	機器・システムなど
支給の決定方法	要件を満たして入れば 100%	採択制
使用用途	自由	限定的



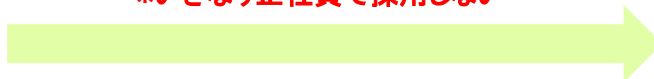
色々な助成金の種類

1名の従業員を採用



キャリアアップ助成金

6ヶ月間の研修期間(有期雇用)
を設け、その後で正社員に転換
※いきなり正社員で採用しない



正社員に転換し、
給与を3%以上UP



正社員化コース(有期→正規)

**助成金受給額 1名あたり 40万円(重点支援対象者以外)
80万円(重点支援対象者)**

※中小企業の場合

〈活用されたお客様の声〉: 飲食店の社長さま

前から調子が悪かった業務用エアコンがついに故障してしまい買い替えをしないとけなくなりましたが、その時にちょうど助成金を受給できていたので、その助成金を業務用エアコンの買い替えにあてることができ、非常に助かった。



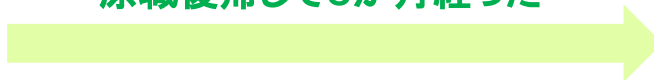
助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

色々な助成金の種類

女性従業員が出産した



3ヶ月以上育休取得後
原職復帰して6か月経った



原職復帰



両立支援等助成金育児休業コース

助成金受給額 1名あたり60万円

〈活用されたお客様の声〉: 歯科医院の医院長さま

歯科衛生士さんは女性が多く、出産を機に退職することが多かったが、育休をちゃんと用意し、安心して復帰できるように、育休前に打ち合わせをすることで、退職をすることなく復帰して仕事をしてくれた。受給した助成金の中から出産祝も渡すことができた。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

色々な助成金の種類

親の介護に従事している
従業員がいる



両立支援等助成金

介護休業をとって
親の介護ができるようになる



5日間連続で介護休業をとって
原職復帰した



介護離職防止支援コース(介護休業)

助成金受給額 1名あたり40万円

〈活用されたお客様の声〉: 自動車整備業の社長さま

従業員がかなり疲れている様子を感じ、声をかけたところ、親の介護をしていることがわかった。
このままでは本人が身体を壊す心配があったので、介護休業を与えたところ、身体もリフレッシュでき、
元気に仕事をしてくれている。
社内問題として人手不足が課題で、求人を常に出していたがお金がかからないので、
無料のハローワークにしか求人を出せていなかった。
今回、介護で受給できた助成金で思い切って有料の求人に投資した結果、1名を採用できた。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

雇用助成金の活用例①

※2023年度助成金活用事例

- 事業内容:建設業 (正社員8名)

既存の
従業員

従業員の業務時間が短縮できる機器を購入した ▶▶ 100万円

契約社員を正社員に2名転換した ▶▶ 114万円

パート・
アルバイト

退職金規定を新たに導入した ▶▶ 40万円

3コースの助成金を申請し、 **合計254万円受給**

業務改善と福利厚生を充実させることで、生産性がアップしました！



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

雇用助成金の活用例②

※2019年度助成金活用事例

- 事業内容: クリニック (正社員2名、社員採用予定1名)

採用予定の
従業員

6か月の研修期間を経てから正社員に雇用。 ▶▶ 57万円

既存の
従業員

男性正社員に5日間の育児休暇を付与。 ▶▶ 57万円

1年半の間、離職者が無かった。 ▶▶ 57万円

正社員から外部研修の参加申し出があり、
特別有給休暇を付与。 ▶▶ 30万円

4コースの助成金を申請し、

合計201万円受給

スキルアップ支援・両立支援で
安定雇用に繋がりました！



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

雇用助成金の活用例③

- 事業内容:フィットネスクラブ
(従業員数:約90名)

従業員の雇用状況に応じて

複数のコースの助成金を毎年申請し、

4年間で 合計2,102万円支給

※申請時に要件に当てはまっていれば、助成金は毎年申請・受給が可能です。

年度	申請額	受給額
2017年	700万円	120万円
2018年	1,176万円	844万円
2019年	54.2万円	912万円
2020年	171万円	225.2万円
合計		2,102.2万円

**助成金は、企業の様々な
取り組みに活用できます。**



助成金の現状と課題

適正に活用すれば、メリットの多い助成金。しかし、殆どの中小企業様は十分に制度を活用しきれず、**要件が当てはまっても、未申請や書類不備による不受給が多い**のが現状です。

忙しいし
よくわからない...



助成金が活用できない理由

- 種類が多く、自社が該当する助成金がわからない。
- 制度の改正情報を追いきれない。
- 都道府県別のルールが複雑。
- 必要な書類や労務整備がわからない。 ...etc

特に多いのは、**書類不備による不受給**。

⇒そこで、適切な助成金制度の活用を専門家がご支援する
「助成金サポートサービス」をご提案いたします。

当てはまる
ものがあるの？



「助成金サポートサービス」とは

多忙な事業主様の代わりに、**制度を正しく理解し、最新情報に基づいて、**
適正な申請・受給を支援する助成金専門のサポートサービスです。

100%支給
をコミット

安心の
返金保証



年間サポート数
約3,000社

社労士法
を遵守



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

当サービスが選ばれる理由



全国10,000社以上のサポート実績。

設立以来、15,667社以上の企業様をサポートし、これまで支給された助成金総額は169億7,170万円^(※)。安心・信頼してご利用いただける専門サービスです。

(※2025年9月末実績。)

申請から受給まで、必要な業務をトータルでご支援。

長期間かつ多岐に渡る申請業務も、進捗管理はお任せください。厚生労働省の最新情報に基き、アドバイザーがきめ細かくフォローいたします。

100%支給をコミット。要件クリア確認後の安心ご契約。

事前に、対象となる助成金の要件がクリアできるか確認してからご契約となります。万一ご契約後に、サポートミスで助成金が受け取れなかった場合は、頂いたサポート費用は全額返金いたします。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

サポート内容と役割分担



企業様



計画書の作成

就業規則を労働
基準監督署へ提出

受給要件の実施

様式書類作成

様式書類提出

労働局対応

受給決定

当センター



▲計画書の書き方
アドバイス・ひな形
や文例の提供

▲就業規則の文言
修正アドバイス

▲労働基準法に
基づく書類のチェック
とアドバイス

▲労働局対応の
アドバイス

▲要件実施に関わる
ご相談やアドバイス

▲仕様書類の
作成アドバイス
▲書類見本
テンプレートの提供

▲申請前の
書類内容の確認

▲労働局対応の
アドバイス

▲文給のご報告を
もってサポート終了

**不受給に繋がる「書類不備」や「期限漏れ」が無いよう徹底フォロー。
煩雑な業務を整理し、きめ細やかに進捗管理します。**



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

ご契約までの流れ

①対象診断申込み

WEB

「助成金対象診断申込」に必要事項をご記入いただき、当センターまでご送付ください。

②状況ヒアリング

御社の状況についてヒアリングフォームにて回答をご送信ください。

WEBフォーム



③診断結果報告

受給の可能性がある助成金・金額・サポート費用を詳細にご説明し、実行の可否をお伺いいたします。

メール

お電話



④サポート申込・ご入金

内容にご納得いただいた上でサポートをご希望の場合、契約書と請求書をお送りいたします。契約書のご返送とご入金が確認されましたらサポート開始です。



サポート
開始！

※電話をご希望の場合は、携帯電話でお電話させていただきます。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

助成金申請を外部に依頼した場合の費用概算

例: キャリアアップ助成金 正社員化コース(助成金受給額0万円(1期))を依頼した場合

	一般社労士	紹介価格	センター通常価格
着手金	10万円(税別)	—	—
サポート費用	—	9万円(税別)	12万円(税別)
就業規則	15万円(税別)	無料	無料
成功報酬 (相場20%)	8万円(税別)	無料	無料
合計	33万円(税別)	9万円(税別)	12万円(税別)

※通常価格、紹介価格のほか会員特別割引あり



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

コース・料金



スポット契約コース

「^(※)助成金対象診断[®]」後、申請可能な助成金のコース毎にご契約し・受給までサポートします。

- 料金 : コース毎にお見積りいたします。
- サポート内容 : 各種ひな形提供、書類作成アドバイス、進捗管理、必要業務のアドバイス

※ご契約前に申請可能な助成金があるか確認する「助成金対象診断」は無料です。

顧問契約コース (Sppo会員対象サービス)

毎月雇用状況を伺い、申請可能な助成金があるか都度確認し、受給までサポートします。

- 料金 : 月々 18,500円(税別)
- サポート内容: 情報配信、課題解決提案配信、進捗管理、保証サービス、ひな型提供・アドバイス等

※入会金不要、1年契約からになります。契約満了月の2か月前まで解約ご連絡がない場合は自動更新。

※Sppo会員の詳細は、別途お問い合わせください。

よくあるご質問

—安心してサポートを受けていただくために—

Q 助成金申請は社会保険労務士の仕事ではないのですか？

助成金の申請書類を代行で提出できるのは社会保険労務士のみですが、助成金申請自体は、自社（ご契約者様）で行っていただけます。なお、当センターは社会保険労務士法人ではないため、社会保険労務士法を遵守し、代行作成・代行申請は行っておりません。

A

Q 受給までどれくらい時間がかかりますか？

申請する助成金の種類により期間は異なりますが、申請準備から受給まで、おおよそ6か月～1年半かかるケースが殆どです。

A

Q サポートを依頼して、不受給だった場合はどうなりますか？

当センターのサポートミスにより不受給だった場合は、頂いたサポート費用は全額返金いたします。

A

※事前に「助成金対象診断」で受給可能な助成金をご確認いただいてからご契約となります。



助成金制度推進センター
SUBSIDY PROGRAM PROMOTION OFFICE

最後に

- 助成金制度のこと
- 行政支援のこと
- 労務整備のこと
- 助成金の運用アドバイスetc..

お気軽にご相談ください。

ありがとうございました。

